



## 特集

# 課題を抱える 青少年への支援

青少年本部神戸事務部 078-382-8249	中播磨青少年本部 079-281-9198
阪神南青少年本部 06-6481-4634	西播磨青少年本部 0791-58-2131
阪神北青少年本部 0797-83-3138	但馬青少年本部 0796-26-3648
東播磨青少年本部 079-421-9105	丹波青少年本部 0795-72-5168
北播磨青少年本部 0795-42-9352	淡路青少年本部 0799-26-2048

編集・発行 2011年12月20日発行  
 公益財団法人**兵庫県青少年本部**  
 〒650-0011  
 神戸市中央区下山手通 4-16-3  
 兵庫県民会館 8階  
 TEL078-891-7410 FAX078-891-7418  
 HP <http://www.seishonen.or.jp/>

## 「ひょうごユースケアネット・ ほっとらいん相談」

専門スタッフが、ひきこもりの専門相談や、  
個々の相談に応じた専門機関の紹介の電話相談  
を行っています。

実施日時：月・水・金（週3回）  
 10:00～12:00 13:00～16:00  
 （祝日および年末年始を除く）

専用ダイヤル：  
**078-977-7555**（相談料無料）

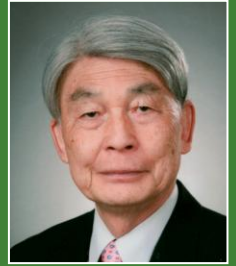
# 青少年 ひょうご No. 76

## CONTENTS

- P 2 ★特集★**  
 増加するひきこもり相談  
 ～「ひょうごユースケアネット・  
 ほっとらいん」の1年半  
 県立神出学園 学園長 小林 剛  
 『不登校支援 Q&A  
 「不登校をめぐる55の質問」』の紹介
- P 4 ☆「大人が変わろう」全県決起大会開催**  
 ・標語入賞作品の表彰  
 ・「青少年」及び「青少年指導者」の表彰  
 ・講演「大震災に学ぶ」貝原俊氏  
 ☆体験の風をおこそうシンポジウム開催  
 ☆ひょうご現代結婚事情フォーラム
- P 6 ★地方青少年本部だより★**  
 のびのび秋の収穫体験バスツアー  
 （阪神南青少年本部）  
 キンボールスポーツ大会 in 宝塚  
 （阪神北青少年本部）
- P 7 ★施設だより★**  
 平成24年4月生の募集（県立神出学園）  
 平成24年度生徒募集（県立山の学校）
- P 8** 賛助会員募集のお知らせ  
 募集しています！編集後記

# 増加するひきこもり相談 ～「ひょうごユースケアネット・ほっとらいん」の1年半～

「ひょうごユースケアネット ほっとらいん相談」で相談員を務められている、県立神出学園 学園長 小林剛先生に寄稿いただきました。

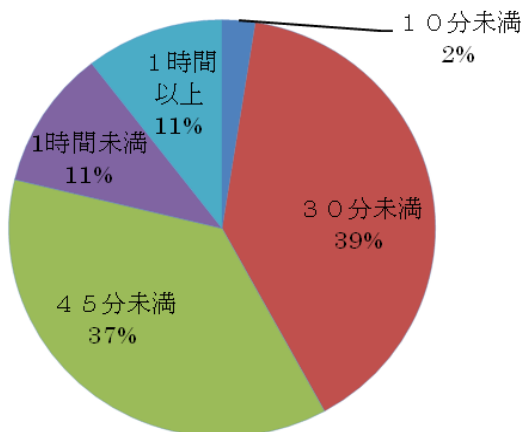


「ひょうごユースケアネット・ほっとらいん」によるひきこもり相談が始まって、早や1年半が経過しました。この間、ひきこもりに悩む多くの親や本人から苦悩する声が寄せられ、ひきこもり問題の深刻さが、あらためて浮き彫りになりました。ここでは、「ほっとらいん相談」の1年半の現状を振り返りつつ、併せてほっとらいん相談の役割と課題を展望してみたいと思います。

## ★相談件数の増加

このほっとらいん開設以来1年半で、寄せられた相談件数はのべ736件となりました。開設日が毎週月・水・金の3日間ですので、1日平均4件程度の相談件数になります。この相談件数は開設以来確実に増加してきています。しかも1件あたりの相談時間は平均35分と長くなっていますが、これまでの最長ケースは1回3時間に及ぶものもありました。ここに、この問題の深刻さをうかがわせます。昨年度当ユースケアネットにより県内調査から推計される兵庫県内の狭義、広義合わせたひきこもり者の推計値は、およそ1万人となりました。こうした数値に比べれば、電話相談に寄せられる相談件数は、まだまだ少ないともいえます。誰にも相談することもなく密かに悩む家庭が少なくないものと思われまます。

## 1回の相談所要時間

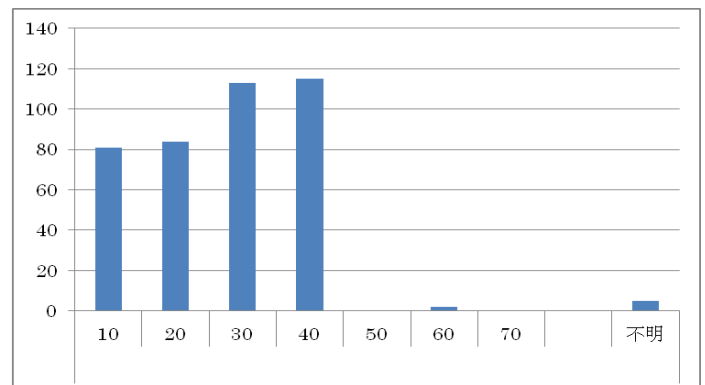


## ★圧倒的に男性の相談ケースが多い

相談ケースの性別を調べた結果、圧倒的に男性が多いことがわかりました。男性が77.9%、女性が21.8%という結果は、全国調査とほぼ同様の傾向を示しています。こうした男女差の数字をどう見るか、多くの見解を総合すると、男性の場合は、育つ過程で女性よりも、親や周りから過剰な期待をかけられて育ち、プレッシャーの多い中で育ってきているからだと言われます。不登校もまた男の子が多いのです。映画の題名ではありませんが「男はつらい」のでしょうか。

## ★相談ケースの年齢は30代から40代が多い

寄せられた相談ケースの年齢を調べてみると、30代、40代の合計で57.0%を占め、20代が21.2%となっていて、ひきこもり者本人の年齢が高齢化していることがわかります。大学生のうちから、または大卒後就職してからひきこもるケースが少なくないのです。こうした数値の裏には、当然のことながら親の高齢化の問題があります。親が退職して年金生活になって、ひきこもりのわが子を抱えるというケースが多くなっています。ひきこもり問題の深刻さがここにもあります。



年齢別ひきこもり者の実数 (単位：人)

## 相談者は母親が多く父親はわずか

相談者の内訳を調べてみたところ、ひきこもり本人からが 53.9%、母親からが 36.6%、父親からが 4.7%となっていて、本人を除けば圧倒的に母親が多いのです。家から外に出られない、人と会うのが怖いなどのひきこもり者本人にとって、このほっとらいんは唯一社会と繋がるツールになっていて、その役割の大きさを感じます。しかし問題なのは、母親が一人悪戦苦闘して悩んでいる姿です。多くの相談事例の中で、父親の理解と協力が得られない悩みが家族から語られています。私たちの臨床例では、父親がこの問題を真剣に受け止め、真正面に向き合った家庭のひきこもり者は、確実に快方に向かっていきます。

## ほっとらいん相談の役割と課題

本相談が果たしている役割は3つあります。

- ① 何よりもこのほっとらいんが悩み苦しむひきこもり者本人や家族の、心の癒しと安定に役立っていることです。この電話で、誰にも言えなかった鬱積した胸のつかえがとれて「気持ちが楽になりました」「電話する度に心が軽くなりました」など。親や、外に出られないひきこもり者にとっては、カウンセリングにも勝る効果になっています。
- ② ひきこもり問題を巡って家族間の硬直した人間関係に風穴が開き、煮詰まった人間関係が穏やかになり、問題解決に向かい始めている事例も多く、父親も問題に向き合うようになってきていること。
- ③ このほっとらいんからの紹介で専門機関につながったこと、本人に外の居場所が紹介されたこと、親が親の会につながりホッとしている事例なども多くあり、親本人の変化も多く見られます。

最後にこのほっとらいんの課題を3点上げておきます。

- ① 事例の中で緊急対応しなければならないケースについては、問題別にマニュアルが用意される必要があること。
  - ② 専門機関との連携の在り方についてノウハウを作る必要があること。
  - ③ 専門機関に紹介したあとの追跡をどうするかということ。
- 以上が当面の課題です。

私たちがいますよ。一緒に考えませんか？



## 不登校支援 Q&A 「不登校をめぐる 55 の質問」 ～あなたの笑顔がみたいから～ 発刊しました

県立神出学園は、不登校等の青少年を対象にした新しい学びの場として平成6年に設立され、開設18年目を迎えました。

学園では、豊かな自然の中で、スタッフや仲間とふれあい、様々な体験を通じて一人一人が自己理解を深め、進路発見ができるように支援しており、この間、元気を取り戻し、学園を修了していった子どもたちは450名を超えました。



文科省の児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査(22年度・8月速報値)によると、本県の小・中学校における不登校児童生徒数は4,901人(1,000人当たりの不登校児童生徒数10.2人)、高等学校における不登校生徒数は、1,606人(1,000人当たりの不登校生徒数11.2人)でした。

不登校の子どもたちをとりまく課題は多方面にわたっており、どのように支援すべきか迷うことが多くあります。学園では、こうした子どもたちの支援に対し、事例分析やケース検討を行い、支援のノウハウを蓄積してきました。

このたび、これまで蓄積してきた支援のノウハウを55項目の「Q&A」として冊子にまとめました。本冊子は、具体的な支援事例をとりあげるよう工夫しましたので、学校関係者及び保護者並びに不登校に関心をお持ちの多くの方々の一助となることを期待します。

配布方法：県立神出学園で無償配布。郵送希望の方は返信用の240円切手を同封して、送り先の住所・氏名・電話番号を記載して神出学園まで。





# 平成23年度「大人が変わろう」 全県決起大会が開催されました！



親や大人自身が、モラル・マナー・ルールを守り、子どもたちが成長していく過程の様々な環境（人間関係）をより良いものにしていく「大人が変われば 子どもも変わる」運動の全県決起大会が開催されました。

## 1. 標語入賞作品の表彰

この運動に協力して、兵庫県青少年を守る店連絡協議会が「ひょうご青少年憲章」をテーマに、大人、子どもそれぞれから、意見や提案、夢や希望を標語の形で広く募集しました。

小学生の部204点、中・高校生の部2,546点、一般の部106点、合計2,856点の応募があり、また、学校の部として16校から応募があり、審査の結果、入賞作品が決定し、表彰されました。

### 小学生の部

#### 最優秀賞

ありがとうしぜんにいえたらうれしいな

渡邊 悠衣 (神戸市立本山第一小学校3年)

#### 優秀賞

勇気だしみんので作ろう仲間の輪

正井 未玲 (宝塚市立長尾南小学校4年)

#### 奨励賞

大切に人の命はたからもの

宮崎 怜央 (宝塚市立長尾南小学校4年)

### 中・高校生の部

#### 最優秀賞

「おはよう」と聞こえる町のあたたかさ

田中 修斗 (神戸市立星和台中学校2年)

#### 優秀賞

見つけよう一人ひとりのよいところ

田村 瑠菜 (兵庫県立松陽高等学校2年)

#### 奨励賞

親切はちょっとした勇気と思いやり

前田 瑞穂 (神戸市立星和台中学校2年)



### 一般の部

#### 最優秀賞

よその子と言わずにわが子とおなじ愛 村岡 君代 (丹波市在住)

#### 優秀賞

対話から広がる子の夢親の愛 村岡 孝司 (丹波市在住)

#### 奨励賞

見られてる大人の姿勢そのマナー 西口 雄一 (加古川市在住)

#### 学校賞

兵庫県立松陽高等学校 武庫川女子大学附属高等学校 明石市立魚住中学校

## 2. 「青少年」及び「青少年指導者」の表彰

県下各地域で優れた活動を展開している青少年及び青少年指導者に対し、兵庫県青少年本部から表彰を行いました。平成23年度の受賞者は、下記の11名・4団体です。

☆☆☆☆☆★受賞者・受賞団体★☆☆☆☆

### 《青少年の表彰受賞者・団体》

- ① 個人 5名
- 佐山 千尋 (尼崎市)
- 森本 充裕 (加東市)
- 中根 修平 (加西市)
- 助永 亘 (姫路市)
- 方城 忠訓 (洲本市)

- ② 団体 2団体

Sanda Student Volunteer (三田市)  
丹波篠山楽空間 (篠山市)



### 《青少年指導者の表彰受賞者・団体》

- ① 個人 6名
- 山内 美之 (猪名川町)
- 森本 由美 (多可町)
- 久保田 克彦 (小野市)
- 藤原 正行 (三木市)
- 田村 美智代 (養父市)
- 竹田 潔 (宍粟市)

- ② 団体 2団体

猪名川町子ども会連絡協議会 (猪名川町)  
洲本少年補導員連絡協議会 (洲本市)

## 3. 講演「大震災に学ぶ」貝原俊民氏

阪神淡路大震災時に兵庫県知事として陣頭指揮を執られた貝原氏に「大震災に学ぶ」と題してご講演いただきました。災害時の行動などを例に、日本文明の特性を「共助の思想」「自然への畏敬」とし、これらを高めた「共生の思想」で平和のための技術を駆使し、「世界に貢献していくことが今後の日本人の役割」と“大人”たちの進むべき道をご教示いただきました。「大人が変われば子どもも変わる」運動を県内各地で展開している青少年育成指導者にとって、今後の活動を進めていく大きな拠りどころとなりました。



## 「第1回 体験の風をおこそうシンポジウム inひょうご」の開催

子どもの健やかな成長にとって「体験」がいかに大切であるかを広く家庭や地域に伝え、社会全体で体験活動の機運を高めるため、「第1回シンポジウム」が約300人の参加のもと、10月25日（火）、兵庫県民会館で開催されました。

基調講演として県立南但馬自然学校長の山田卓三氏から「いのちとこころ」を演題に、例えば、苗床づくりや田起こし、代掻き、田植え、水の管理などの「体験」活動を積み重ねるだけでなく、それに関連した知を人に伝えられるようになること、すなわち「体験」活動のみに止まらず、「体験」活動を「経験」化することの大切さを、さまざまな事例を交えながらお話をいただきました。

次に「子どもの健やかな成長に必要なこと」をテーマに、兵庫県青少年団体連絡協議会会長の速水順一郎氏をコーディネーターにパネルディスカッションを行い、

① 大人がゆとりを持ち、子どもの素直な気持ちや感覚に共感する。

② 自然（じねん）の営みや驚異、美しさを見直す。

③ 集団での体験活動の大切さ。

などを確認し、今後、県内全域に体験の風が巻きおこるよう、参加者それぞれが体験活動を展開していくことを誓い合いました。



## ひょうご現代結婚事情フォーラム 開催しました！

近年、若者の晩婚化と未婚化の傾向は著しく、少子化の大きな要因の一つになっていますが、この背景には男女の出会いの場と機会の減少が挙げられています。

この問題をテーマとするフォーラムが、11月25日（金）にラッセホールで開催されました。

オープニング・ステージで、関西和装学院による和装ウェディングファッションショーが行われました。

冒頭「成功する婚活への5ステップ」と題して、少子化ジャーナリストの白河桃子氏から基調講演がありました。講演では、「婚活」ブームで間違った婚活イメージが広がっていること、出会いの場が減少していること、就職氷河期と結婚氷河期は軌を一にしていること、結婚のためには意識改革が大事で、待っているだけでは結婚できない、等の興味深いお話しが披露されました。

続いて、甲南大学名誉教授の野々山久也氏をコーディネーターに、「現代若者の結婚支援の方策」をテーマに、活発なパネルディスカッションが行われ、参加者はこの深刻な課題に対する今後の支援活動を誓い合い、会場を後にしました。

また、平成24年2月2日（木）には、姫路キャスパホールでも開催いたします。

基調講演には玉岡かおる氏をお迎えし、「若者の未婚化・晩婚化を考える～男の言い分・女の言い分～」をテーマにパネルディスカッションを行います。皆様のご参加お待ちしております。



# ●地方青少年本部だより●

## 阪神南青少年本部 のびのび秋の収穫体験バスツアー

10月15日(土)、小学生33名はバスに乗り込み、最初の体験場所である神戸市北区の弓削牧場に向けて出発しました。

爽やかな朝の牧場では、まず牛舎で近畿に3台しかない自動搾乳機やかわいい子ウシを見学。その後、実際にチーズ作りを体験し、乳が血液から作られる等のお話に驚きつつ、チーズのできる仕組みを学びました。

次に、三木市の県広域防災センターへ移動、地震の際の対応をアニメで学んだ後、震度



7の地震の揺れと煙避難を体験しました。煙避難ではなかなか脱出できず、火事を出さないことの大切さを実感しました。

最後の訪問地、三木市吉川町の実楽営農組合では、秋の味覚である黒豆枝豆の収穫です。大きな茎から枝豆をもいでいくのは大変な作業でしたが、誰も途中で投げ出すことなく、収穫の喜びを満喫しました。終わってから食べたゆで枝豆の美味しかったこと！

子どもたちの新しい体験に向かっていく姿勢に感心させられる一方で、ルールを守って行動することを伝えていく重要性など、楽しさとともに事業実施の難しさをスタッフも「体験」した秋の1日でした。



## 阪神北青少年本部

### ～がんばろう日本！思いやりと勇気にあふれた子どもへ～ ジュニア・チャレンジカップ 2011「キンボールスポーツ大会 in宝塚」

阪神北青少年本部では、平成19年から伊丹市、川西市、三田市、宝塚市の各青年会議所と協働して「キンボールスポーツ大会」を開催しています。このスポーツは1986年にカナダで考案された新しいボールゲームで、直径122cmの大きなボール



を使い、1チーム4人で構成されたチームが3チーム同時にプレーします。共遊(みんなで楽しみ)、主体(誰もが主役に)、創造(ゲームを工夫し

て)を理念に、年齢、性別に関係なく誰もが気軽に楽しめるスポーツです。

今年の大会は、9月18日(日)に宝塚市立スポーツセンターで開催し、小学4年生～6年生の39チーム約200名の選手が熱戦を繰り広げました。また、サブアリーナでは、交流・体験コーナーを設け、バルーンアートの創作など交流を図るとともに、被災地への復興支援として、参加選手が応援メッセージをキンボールに寄せ書きし、キンボールスポーツの盛んな宮城県へ送りました。



あらゆる自然災害から「住まい」「家財」を守る

## フェニックス共済

阪神・淡路大震災の教訓を生かした  
兵庫県(条例)による独自の制度



フェニックスサポーター  
はばたん

### 制度の概要

区分	負担金	被害認定※	給付金
住宅再建共済	年額5,000円	半壊以上	最高600万円
家財再建共済	年額1,500円	床上浸水又は半壊以上	最高50万円

※ 市町が発行する災害証明書による被害認定

- ・現在、東日本大震災で被災し、県内に避難してきた3名が加入促進員として普及啓発・加入促進活動に従事。
- ・H23.9の台風12号災害では、家財再建共済制度創設後、初めて共済給付金を給付。

(公助兵庫県住宅再建共済基金(兵庫県内)) TEL078-362-9400(平日9時～17時)

フェニックス共済

検索

## 1対1の個別お見合い紹介をします！ はばたん会員募集中！！

### ひょうご出会いサポートセンター

- |                                    |                                    |
|------------------------------------|------------------------------------|
| 神戸出会いサポートセンター<br>TEL(078)381-6820  | 中播磨出会いサポートセンター<br>TEL(079)240-7005 |
| 阪神南出会いサポートセンター<br>TEL(06)6481-7370 | 西播磨出会いサポートセンター<br>TEL(0791)58-1311 |
| 阪神北出会いサポートセンター<br>TEL(0797)26-7351 | 但馬出会いサポートセンター<br>TEL(079)662-7701  |
| 東播磨出会いサポートセンター<br>TEL(078)920-9337 | 丹波出会いサポートセンター<br>TEL(0795)78-9130  |
| 北播磨出会いサポートセンター<br>TEL(0795)38-8022 | 淡路出会いサポートセンター<br>TEL(0799)24-2717  |

## ～平成24年4月生募集～

県立神出学園は、平成6年10月、不登校等の青少年を対象とした全国で唯一の県立の支援施設として設置され、開設18年目を迎えています。一言でいうと、「元気をなくした若者を元気にする学園」です。

学園では、豊かな自然の中でスタッフや仲間とふれあい、様々な体験を通じて一人一人が自己理解を深め、進路発見ができるよう支援しています。

この度、次のとおり平成24年4月入学の学園生の募集を行います。



## 県立神出学園

＜募集要項＞

- ① 対象者 中学校及びこれに準ずる学校を卒業した県内在住の20歳未満の男女で、不登校等により進路発見が困難な状況にありながらも、自分の生き方や進路を見つきたいという意欲を持ち、体験学習や寮での共同生活ができる人
- ② 募集人員 年間35名程度
- ③ 在籍期間 2年以内（全寮制）
- ④ 授業料 無料（ただし、給食費、教材費、寮費など月額45,000円が必要）
- ⑤ 願書受付 平成24年2月1日（水）～平成24年3月1日（木）
- ⑥ 入学時期 平成24年4月中旬

**問い合わせ先**

県立神出学園 TEL078-965-1122

## 県立山の学校

### 『平成24年度生徒募集』

県立山の学校は、平成5年1月、宍粟市山崎町に開設された学校で来年20周年を迎えます。山の学校では、自然の中でのさまざまな体験活動と寮での共同生活を通して、よりよい人間関係を育みながら、たくましく生きる力を培い、進路実現にむけて「元気・やる気・自信・笑顔」づくりを支援しています。



【募集要項】

- ① 対象者 義務教育を修了した者で、寮での共同生活や体験活動のできる15歳から20歳（平成24年4月1日現在）までの県内在住の男子
- ② 募集定員 20名
- ③ 修学期間 1年間の全寮制
- ④ 授業料 無料（ただし、食費、寮生活費、教材費等の諸会費は、月額4万円～5万円が必要）
- ⑤ 願書受付 平成24年2月3日（金）～2月17日（金）
- ⑥ 選考試験 平成24年2月24日（金）
- ⑦ 合格発表 平成24年2月27日（月）
- ⑧ 入学時期 平成24年4月10日（火）

**問い合わせ先**

県立山の学校 TEL0790-62-8088

■以下の事業については、随時募集しています！

\*こうのとりの会

\*ひょうご青少年育成・ワンコインセミナー

\*青少年交流サロン“ココロズ”

詳しくは公益財団法人兵庫県青少年本部までお問い合わせください。

TEL 078-891-7410

★ホームページ上でも情報提供しています。

HP <http://www.seishonen.or.jp/>

（兵庫県青少年本部）

平成23年度

ひょうご青少年社会貢献活動認定制度  
青少年・企業交流フォーラム

日時：平成24年1月14日（土）13:30～16:00

場所：兵庫県民会館 11階 パルテホール

対象：学生・学校・企業・青少年団体・NPO等

参加費：無料

○ 制度の説明等

○ 活動体験・事業実施団体発表

○ パネルディスカッション

テーマ「これからの青少年に必要な力」

## 賛助会員を募集しています

賛助会費は税制面での優遇措置の対象になります。

次代を担う青少年を育成するために、ぜひ皆さまのご協力をお寄せください。

[会費] 賛助会員(個人) 年額 1口 2,000円以上

賛助会員(法人) 年額 1口 10,000円以上

詳細は、兵庫県青少年本部、又は各地方青少年本部までお問い合わせください。

賛助会員カードを呈示すると、以下の施設で入館料・入園料割引等の特典を受けることができます。

◇施設 本人および同伴1名(神戸市立博物館は本人のみ)に団体割引料金適用

◇兵庫県民会館レストラン・喫茶・理容室 本人のみに10%割引

### 兵庫県立美術館

《特別展》  
生誕100年 伊藤清永展  
12月10日(土)～  
1月22日(日)  
TEL 078-262-0901  
(神戸市中央区)

### 兵庫県立 人と自然の博物館

《展示特別企画展》  
化石集合!2011  
ジオパークを彩る化石  
10月1日(土)～4月8日(金)  
TEL 079-559-2001  
(三田市)

### 兵庫県立考古博物館

《企画展》  
ひょうごの遺跡 vol.4  
—調査研究速報—  
1月28日(土)～4月8日(日)  
TEL 079-437-5589  
(播磨町)

### 兵庫県立歴史博物館

《特別企画展》  
やきものは語る  
—ひょうごの城下と窯—  
1月8日(土)～3月4日(日)  
TEL 079-288-9011  
(姫路市)

### 兵庫陶芸美術館

《特別展》  
荒木高子展  
—一心の深淵に迫る—  
12月10日(土)～2月26日(日)  
TEL 079-597-3961  
(篠山市)

### 人と防災未来センター

TEL 078-262-5050  
<http://www.dri.ne.jp/>  
(神戸市中央区)

### 神戸市立博物館

《特別展》  
日本絵画のひみつ  
12月10日(土)～  
1月22日(日)  
TEL 078-391-0035  
(神戸市中央区)

### 兵庫県庁2号館 B1 食堂「のじぎく」

割引(例)  
コーヒー 300円→270円  
ケーキセット 600円→540円  
(但し 11:00～14:00 除)  
TEL 078-362-2509  
(神戸市中央区)

## 現在募集しています!

### ■ 県立いえしま自然体験センターの事業案内

当センターでは、下記の日程で昼食には地元いえしまの旬の味覚を満喫していただき、さらにセンターならではの体験をしていただく日帰り行事を計画しています。

☆平成24年1月15日(日)冬の味覚まるごと体験

(海苔摘みと佃煮づくり体験など)

☆平成24年2月19日(日)早春の味覚まるごと体験

(ひじきの採取と海藻料理など)

☆平成24年3月10日(土)春一番!味覚まるごと体験

(いかなごの釜揚げ・クギ煮づくり)

参加費:大人6,000円 小学生5,000円 幼児2,500円

3才以下1,000円(乳児は損害保険料350円のみ)往復船賃、昼食、プログラム費、保険料込み)

6週間前にホームページにチラシを掲示し募集を始めます。

申込・問い合わせ先:079-327-1508・1509  
(県立いえしま自然体験センター)



### ■ 県立山の学校

☆「人生まなび塾」参加者募集中

第8回1月18日(水)キムチづくり

☆体験入学のご案内12月23日(祝)

問い合わせ先:0790-62-8088(県立山の学校)

### ■ 県立神出学園

☆1日交流体験及び神戸サテライトルームの参加者募集

問い合わせ先:078-965-1122(県立神出学園)

### ■ 第39回兵庫・沖縄冬期友愛キャンプ

・平成24年2月9日(木)～12日(日)3泊4日

・募集人員 30人

・参加費用 27,000円

・申込期限 平成23年12月28日(水)必着

・申込方法 参加申込書を持参もしくは郵送

問い合わせ先:078-891-7410

(兵庫県青少年本部 活動支援担当)

### ◆◆編集後記◆◆

・この秋は、週末ごとによく雨が降りましたね。今年度から始まった新しい冒険ひろばの活動状況を見学するために日程を組みましたが、ことごとく雨に降られて結局1箇所もいけませんでした。私って雨女・・・?来年は返上したいです。(K)